

# 平成20年3月期 第1四半期連結決算概要

平成19年7月31日  
住友化学株式会社

## 1. 業績

(単位:億円)

	平成18年 第1四半期	平成19年 第1四半期	前期比増減	平成19年 3月期
売上高	4,123	4,392	269	17,900
営業利益	340	256	83	1,396
経常利益	404	344	59	1,580
四半期(当期)純利益	204	148	56	939
1株当たり四半期(当期)純利益	12円32銭	8円95銭	3円37銭	56円82銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	2.8%	1.9%	0.9%	12.4%
平均為替レート(円/\$)	114.50	120.82	-	116.97
ナフサ価格(円/KL)	48,800	58,000	-	50,000

## 2. 部門別売上高・営業利益

(単位:億円)

		平成18年 第1四半期	平成19年 第1四半期	前期比増減	平成19年 3月期
基礎化学	売上高	699	772	73	3,140
	営業利益	27	43	16	135
石油化学	売上高	1,252	1,439	187	5,391
	営業利益	36	23	13	236
精密化学	売上高	221	231	10	909
	営業利益	32	34	1	131
情報電子化学	売上高	638	613	25	2,664
	営業利益	37	41	78	35
農業化学	売上高	447	472	24	1,983
	営業利益	46	54	8	233
医薬品	売上高	588	584	4	2,345
	営業利益	153	139	13	562
その他	売上高	278	281	3	1,468
	営業利益	7	4	3	80
消去	売上高	-	-	-	-
	営業利益	1	(0)	(1)	(15)
合計	売上高	4,123	4,392	269	17,900
	営業利益	340	256	83	1,396

## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 31 日

上場会社名 住友化学株式会社  
 コード番号 4005  
 代表者 (役職名) 社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長

上場取引所 東証一部・大証一部  
 (URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>)  
 (氏名)米倉 弘昌  
 (氏名)酒井 基行 TEL(03)5543-5265

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	439,222	6.5	25,634	24.6	34,438	14.7	14,776	27.4
19年3月期第1四半期	412,301	22.7	33,982	14.4	40,376	1.9	20,355	6.0
19年3月期	1,790,026		139,623		157,981		93,860	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	8 95	8 93
19年3月期第1四半期	12 32	
19年3月期	56 82	56 81

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	2,338,640	1,037,140	34.1	483 44
19年3月期第1四半期	2,164,966	940,658	33.1	433 28
19年3月期	2,324,906	1,030,521	34.1	479 87

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	19,073	62,526	14,784	97,811
19年3月期第1四半期				
19年3月期	142,917	164,239	35,558	125,990

## 2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	920,000	7.7	47,000	31.1	50,000	34.1	25,000	53.1	15	14
通期	1,910,000	6.7	130,000	6.9	130,000	17.7	70,000	25.4	42	38

上記の業績予想については、平成 19 年 5 月 10 日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

## 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注)詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

これらの予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与えうる主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は原油価格の高騰や、個人消費に鈍化の傾向が見られたものの、中国を中心としたアジアの堅調な需要を背景に、緩やかな成長を続けております。

このような状況の中で、当社グループの第1四半期の売上高は、前年同期に比べ269億円増加し4,392億円となりましたが、損益面では原料価格の高騰や設備固定費の増加等の影響により、営業利益は256億円、経常利益は344億円、当期純損益は148億円とそれぞれ前年同期に比べ減益となりました。

当第1四半期の事業の種類別セグメントの概況は以下の通りです。

## (基礎化学)

カプロラクタム等の合繊原料やアルミニウムの販売は市況の上昇により増加しました。またメタアクリルもアジアでの市況の上昇により販売が増加しました。この結果、売上高は前年同期に比べ73億円増加し772億円となり、営業利益も前年同期に比べ16億円増加し43億円となりました。

## (石油化学)

スチレンモノマー等の石油化学品の販売は、ナフサ等の原料価格の上昇を背景に市況が上昇したことにより、増加しました。合成樹脂についても、アジア市況の上昇により販売が増加しました。この結果、売上高は前年同期に比べ187億円増加し1,439億円となりましたが、営業利益は原料価格高騰の影響により、前年同期に比べ13億円減少し23億円となりました。

## (精密化学)

医薬原体、医薬中間体の販売が拡販により増加したため、売上高は前年同期に比べ10億円増加し231億円となり、営業利益は前年同期比ほぼ横這いの34億円となりました。

## (情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムやカラーフィルターの販売は韓国での生産能力増強等による出荷増加があったものの、販売価格の下落により減少しました。この結果、売上高は前年同期に比べ25億円減少し613億円となり、損益面では売価の下落に加え、生産能力増強に伴う固定費の増加等により前年同期に比べ78億円減少し41億円の営業損失となりました。

## (農業化学)

飼料添加物の販売は拡販や売価の上昇により増加しました。農薬、家庭用殺虫剤は出荷が堅調に推移したことに加え、円安による輸出手取りの増加もあって、販売は増加しました。この結果、売上高は前年同期に比べ24億円増加し472億円となり、営業利益も前年同期に比べ8億円増加し54億円となりました。

## (医薬品)

アムロジン(高血圧症・狭心症治療薬)、ガスモチン(消化管運動機能改善剤)、メロベン(カルバペネム系抗生物質製剤)、プロレナール(末梢循環改善剤)の主力4製品の販売は引き続き堅調に推移しましたが、主力品目以外の販売減少や工業所有権収入の減少等の影響により、売上高は前年同期に比べ4億円減少し584億円となり、営業利益も前年同期に比べ13億円減少し139億円となりました。

## (その他)

上記6部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。売上高は前年同期に比べ3億円増加し281億円となり、営業利益は前年同期に比べ3億円減少し4億円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の総資産は、前期末に比べ137億円増加し2兆3,386億円となりました。ラービグ計画への出資等により固定資産(その他)が増加したことが主な要因であります。

負債は、前期末に比べ71億円増加し1兆3,015億円となりました。有利子負債(短期借入金、一年内償還社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金)は、前期末に比べ310億円増加し6,720億円となりましたが、未払法人税等の減少により流動負債(その他)が減少しました。

純資産(少数株主持分を含む)は、前期末に比べ66億円増加し、1兆371億円となりました。自己資本比率は、前期末と同じ34.1%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績の見通しは、平成19年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当なし

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準は「中間連結財務諸表等の作成基準」に準拠した簡便法によっております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

平成19年度の法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却の計算方法については、改正後の法人税法に定める方法によっております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

## (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (18.6.30 現在)	当第1四半期 (19.6.30 現在)	前期 (19.3.31 現在)	科目	前年同四半期 (18.6.30 現在)	当第1四半期 (19.6.30 現在)	前期 (19.3.31 現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	933,314	964,043	995,895	流動負債	647,370	738,937	707,168
現金及び預金	100,233	97,231	104,224	支払手形及び買掛金	241,988	253,665	261,860
受取手形及び売掛金	376,730	399,759	407,563	短期借入金	135,390	157,397	151,137
たな卸資産	310,374	344,370	327,747	一年内償還社債	30,576	52,327	28,495
その他	148,441	124,469	158,371	コマーシャル・ペーパー	68,000	85,000	54,000
貸倒引当金	2,464	1,786	2,010	その他	171,416	190,548	211,676
固定資産	1,231,652	1,374,597	1,329,011	固定負債	576,938	562,563	587,217
有形固定資産	588,498	626,873	623,487	社債	270,398	250,340	277,900
無形固定資産	44,293	42,626	42,804	長期借入金	130,276	126,960	129,457
投資有価証券	481,317	501,461	486,109	退職給付引当金	48,747	42,978	42,750
その他	119,183	205,166	178,165	その他	127,517	142,285	137,110
貸倒引当金	1,639	1,529	1,554	負債合計	1,224,308	1,301,500	1,294,385
				(純資産の部)			
				株主資本	568,037	635,745	632,602
				資本金	89,699	89,699	89,699
				資本剰余金	23,756	23,766	23,763
				利益剰余金	456,244	524,641	521,433
				自己株式	1,662	2,361	2,293
				評価・換算差額等	147,694	162,639	159,936
				その他有価証券 評価差額金	141,805	150,926	146,301
				繰延ヘッジ損益	1,943	2,157	2,301
				土地再評価差額金	3,811	3,811	3,811
				為替換算調整勘定	4,021	10,059	12,125
				少数株主持分	224,927	238,756	237,983
				純資産合計	940,658	1,037,140	1,030,521
資産合計	2,164,966	2,338,640	2,324,906	負債・純資産合計	2,164,966	2,338,640	2,324,906

## (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 (自 18. 4. 1 至 18. 6.30 )	当第1四半期 (自 19. 4. 1 至 19. 6.30 )	増 減	前 期 (自 18. 4. 1 至 19. 3.31 )
売 上 高	412,301	439,222	26,921	1,790,026
売 上 原 価	303,293	336,818	33,525	1,338,142
売 上 総 利 益	109,008	102,404	6,604	451,884
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	75,026	76,770	1,744	312,261
営 業 利 益	33,982	25,634	8,348	139,623
営 業 外 収 益	10,851	14,002	3,151	45,271
受 取 利 息	209	582	373	1,844
受 取 配 当 金	2,699	2,913	214	5,293
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	4,501	5,231	730	23,607
雑 収 益	3,442	5,276	1,834	14,527
営 業 外 費 用	4,457	5,198	741	26,913
支 払 利 息	2,332	2,981	649	11,034
雑 損 失	2,125	2,217	92	15,879
経 常 利 益	40,376	34,438	5,938	157,981
特 別 利 益	2,729	319	2,410	31,079
投 資 有 価 証 券 売 却 益	2,729	319	2,410	31,079
特 別 損 失	2,946	72	2,874	7,999
構 造 改 善 費 用	2,946	72	2,874	6,378
訴 訟 関 連 費 用	-	-	-	1,010
退 職 給 付 制 度 改 定 に 伴 う 損 失	-	-	-	611
税 金 等 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	40,159	34,685	5,474	181,061
法 人 税 等	14,620	13,766	854	65,916
少 数 株 主 利 益	5,184	6,143	959	21,285
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	20,355	14,776	5,579	93,860

## (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位;百万円)

	当第1四半期 (自 19. 4. 1 至 19. 6. 30 )	(参考)前期 (平成19年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	34,685	181,061
減価償却費	28,066	113,870
売上債権の増減(増加: )	8,963	5,714
たな卸資産の増減(増加: )	16,514	30,308
仕入債務の増減(減少: )	9,098	6,953
その他の増減	27,029	109,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,073	142,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	2,607	10,188
固定資産の取得による支出	38,890	156,924
その他の増減	21,029	2,873
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,526	164,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,784	35,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	384	781
現金及び現金同等物の増減額	28,285	15,017
現金及び現金同等物の期首残高	125,990	110,972
合併による現金及び現金同等物の増加額	98	-
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8	103
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	102
現金及び現金同等物の期末残高	97,811	125,990



## セグメント情報

## 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位;百万円)

	基礎 化学	石油 化学	精密 化学	情報電子 化学	農業 化学	医薬品	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	69,902	125,155	22,086	63,844	44,721	58,786	27,807	412,301		412,301
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,648	2,550	1,668	1,604	610	2	12,710	21,792	(21,792)	
計	72,550	127,705	23,754	65,448	45,331	58,788	40,517	434,093	(21,792)	412,301
営業費用	69,832	124,076	20,540	61,714	40,715	43,505	39,789	400,171	(21,852)	378,319
営業利益	2,718	3,629	3,214	3,734	4,616	15,283	728	33,922	60	33,982

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位;百万円)

	基礎 化学	石油 化学	精密 化学	情報電子 化学	農業 化学	医薬品	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	77,248	143,862	23,105	61,299	47,166	58,398	28,144	439,222		439,222
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,099	2,867	1,760	1,518	386	7	12,754	22,391	(22,391)	
計	80,347	146,729	24,865	62,817	47,552	58,405	40,898	461,613	(22,391)	439,222
営業費用	76,056	144,412	21,511	66,886	42,147	44,465	40,479	435,956	(22,368)	413,588
営業利益(は営業損失)	4,291	2,317	3,354	4,069	5,405	13,940	419	25,657	(23)	25,634

前期(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	基礎化学	石油化学	精密化学	情報電子化学	農業化学	医薬品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	314,004	539,065	90,882	266,436	198,310	234,546	146,783	1,790,026		1,790,026
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,788	10,887	7,699	6,328	1,853	13	59,271	97,839	(97,839)	
計	325,792	549,952	98,581	272,764	200,163	234,559	206,054	1,887,865	(97,839)	1,790,026
営業費用	312,309	526,356	85,496	269,307	176,912	178,328	198,042	1,746,750	(96,347)	1,650,403
営業利益	13,483	23,596	13,085	3,457	23,251	56,231	8,012	141,115	(1,492)	139,623

(注) 1.事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、事業の種類・性質の類似性を勘案して7つに区分した。

2.各事業区分の主要製品

事業区分	主要な製品・事業
基礎化学	無機薬品、合繊原料、有機薬品、メタクリル、アルミナ製品、アルミニウム等
石油化学	石油化学品、合成樹脂、合成ゴム、合成樹脂加工製品等
精密化学	機能性材料、添加剤、染料、医薬化学品等
情報電子化学	光学製品、カラーフィルター、半導体プロセス材料、電子材料、化合物半導体材料等
農業化学	農薬、肥料、農業資材、家庭用・防疫用殺虫剤、熱帯感染症対策資材、飼料添加物等
医薬品	医療用医薬品、放射性診断薬等
その他	電力・蒸気、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析業務等

3.営業費用はすべて各セグメントに配賦した。